



(和訳)※原文(英語)については5ページ目以降をご参照ください

2018年9月17日

妥協しない e-モビリティ: モジュラー エレクトリック ドライブ マトリックスを世界初公開 – フォルクスワーゲン、“ELECTRIC FOR ALL”キャンペーンを開始

- フォルクスワーゲン ブランドが手頃な価格の魅力的な電気自動車を発表
- ドレスデンでモジュラー エレクトリック ドライブ マトリックス(MEB)を世界初公開:新開発された技術プラットフォームは、“すべての人のための電気自動車”の基盤を形成
- フォルクスワーゲン ブランド e-モビリティ担当取締役のトーマス ウルブリッヒ:「MEB は、フォルクスワーゲン史上最も重要なプロジェクトの1つであり、ビートルからゴルフへの移行にも匹敵する技術的マイルストーン」
- グループ全体で MEB をベースとした 1,000 万台の電気自動車の生産を目指す
- フォルクスワーゲン ブランドは、2020 年までに、10 万台の”ドイツ製“「I.D.」モデルを含む約 15 万台の電気自動車を販売予定

ドレスデン: フォルクスワーゲンは、他の自動車メーカー以上に、一貫した姿勢と断固たる決意を持って、e-モビリティへの移行を推進しています。本日開始された“ELECTRIC FOR ALL”(すべての人々のための電気自動車)キャンペーンの一環として、フォルクスワーゲン ブランドは魅力的なモデルを手頃な価格で提供し、電気自動車のブレイクスルーへの道を切り拓きます。

フォルクスワーゲンの e-モビリティ攻勢は、電気自動車専用が開発された技術プラットフォームであるモジュラー エレクトリック ドライブ マトリックス(MEB)に基づいています。MEB をベースとする世界初の量産車であるフォルクスワーゲン「I.D.(アイ.ディ.)」の生産は、2019 年末からツヴィッカウで始まります。

フォルクスワーゲンは、“ELECTRIC FOR ALL”キャンペーンの立ち上げに際し、世界中のメディア関係者を招いて、ドレスデンの“ガラスの工場”で、「I.D.」の技術ベースに関する初のメディアワークショップを開催します。このワークショップでは、今後、量産電気自動車に採用される MEB(ボディワークとインテリアを装着しない状態のローリング シャシー)の主要な技術を公開します。フォルクスワーゲンはまた、充電インフラに関する取り組みについても取り上げます。ドレスデンでは、“Volks-Wallbox”(フォルクス ウォールボックス)も初公開されます。このウォールボックスは、「I.D.」ファミリーを簡単かつ便利に充電できる、手頃な価格の家庭用充電システムです。



トーマス ウルブリッヒとクリスチャン ゼンガー



フォルクスワーゲン e-モビリティ キャンペーン のデザイン

“ELECTRIC FOR ALL”は、フォルクスワーゲン ブランドのビジョンとミッションを象徴しています。それは、革新的な技術を数多くのお客様に提供できるようにすることです。MEB は、“すべての人々のための電気自動車”を実現するためのカギとなる技術です。MEB は、今まで達成できなかった価格対サービス比を可能にし、電気自動車をニッチ製品からベストセラーに変革するために重要な役割を果たすこととなります。

フォルクスワーゲン ブランド e-モビリティ担当取締役のトーマス ウルブリッヒは、次のように述べています。「私たちは電気自動車を大衆のものにして、一人でも多くの人々に電気自動車の楽しさを提供したいと思っています。MEB は、フォルクスワーゲン史上最も重要なプロジェクトの 1 つであり、ビートルからゴルフへの移行にも匹敵する技術的マイルストーンです。」

MEB: 電気世代の技術基盤

体系的なプラットフォーム戦略は、フォルクスワーゲンならではのセールスポイントの一つとなっています。これは、フォルクスワーゲン ブランドとグループが、e-モビリティに投資する財務力を備えていることを証明するものです。トーマス ウルブリッヒは、次のようコメントしています。「私たちは、電気自動車が提供すべき可能性を最大限に活用していると同時に、スケールメリットを生み出しています。最初の電気自動車攻勢だけで、グループ全体で約 1,000 万台の車両が、このプラットフォームに基づいて生産される予定です。MEB は、すべての人のための電気自動車の経済的および技術的な基盤となります。」

MEB は、お客様に大きなメリットをもたらすことになると、フォルクスワーゲン e-モビリティ製品群開発責任者のクリスティアン ゼンガーは説明しています。「I.D.は技術開発のマイルストーンになるでしょう。このクルマは、完全なコネクテッド機能、日常走行での優れた実用性を備え、何百万人もの人々が手に入れることができる初めての電気自動車になるでしょう。」例えば MEB は、より大きなバッテリーを搭載することも可能です。それによって、航続距離を大幅に延ばすことができます。「フラットなバッテリーをフロアの下部に設置することによって、優れた走行性能と、これまで以上に広い室内を実現しています。広々とした感覚という面で、私たちのクルマは大きな進化を遂げています。」

さらに、MEB は、生産に関するフォルクスワーゲンのあらゆる専門知識を結集しています。MEB は、内燃エンジン用のプラットフォームを改良したものではなく、一切の妥協なく、100%電気自動車用に



ゼロから設計されています。ウルブリッヒは、次のように付け加えています。「フォルクスワーゲンは、モジュラー トランスバース ツールキット(MQB)によって、自動車業界で最も成功したプラットフォーム開発企業の一つであることを既に証明しています。現在、私たちは、このノウハウと戦略を電気世代へと移植しています。2022 年末までに 4 つのグループ ブランドが、コンパクトカーからライフスタイルカーの「Bulli(ブリー)」に至るまで、全世界で 27 の MEB モデルを投入する予定です。それは他になかなか類をみないものです。」

「I.D.」ファミリーの全モデルは急速充電に対応しています。急速充電システムを使用すると、約 30 分でバッテリーを 80%まで充電できます。これはフォルクスワーゲン グループ コンポーネントによって開発された、まったく新しい、性能が大幅に増強されたバッテリー システムによって実現しました。ゼンガーは次のように説明しています。「新世代の高性能バッテリーは、I.D.モデルから搭載されます。モジュラー設計とマルチセル フォーマットにより、これらのバッテリーは、より小型または大型の I.D.モデルにも搭載することができます。」

「I.D.」ファミリー:ドイツ製の e-モビリティ

フォルクスワーゲン「I.D.」は、あらゆる面で完全なドイツ製の電気自動車になります。

ブラウンシュヴァイク、ザルツギッター、カッセルのフォルクスワーゲン グループの部品工場をはじめとして、ドイツにおけるフォルクスワーゲン生産拠点のほとんどは、MEB ベース初の電気自動車を開発・生産することに携わっています。フォルクスワーゲンは、e-モビリティに関する合計 60 億ユーロの予算のうち、13 億ユーロを上記の 3 つの工場に投資しています。

ウォルフスブルグ

「I.D.」は、ウォルフスブルグ本社工場の“e-モビリティ生産シリーズおよび研究開発”部門によって考案・開発されました。現在、パイロット ホールにおいて、プレシリーズ モデルが製造されており、エーラ=レッシェンの試験コースでテストが重ねられています。

ツヴィッカウおよびドレスデン

フォルクスワーゲンは、「I.D.」ファミリーの量産モデルをザクセン州で生産する予定です。

ツヴィッカウは、最初の MEB 専用工場と e-モビリティのための欧州最大のコンピテンス センターにするために、12 億ユーロが投資されています。ドレスデンの“ガラスの工場”では、2017 年 4 月から「e-Golf(e ゴルフ)」の生産してきました。工場は、「未来のモビリティ センター」へと進化しています。お客様や見学者は、e-モビリティとデジタル化とのインタラクティブな出会いを楽しみ、未来のモビリティについてより深く知ることができます。

ブラウンシュヴァイク

ブラウンシュヴァイク工場は、「I.D.」の心臓部であるバッテリー システムを製造します。

長い歴史を持つこの工場では、すでに「e-up!(e-アップ!)」、「e-Golf(e-ゴルフ)」、「Passat GTE



(パサート GTE) プラグインハイブリッド用のバッテリーを製造しています。ブラウンシュヴァイクは、バッテリーおよびパッケージングに特化した拠点として、パワーエレクトロニクス、バッテリー冷却システム、ソフトウェア管理に関する豊富なノウハウを持っています。この工場は、将来的に年間50万台のバッテリーシステムを製造できるように拡張工事が行われています。

ザルツギッター

ザルツギッター工場では今年、MEB のローターとステータの製造を開始します。“バッテリー セルセンター オブ エクセレンス (CoE)”は、バッテリー セルおよびバッテリー モジュール製造における開発および製造に関する専門知識を蓄積しています。ザルツギッター工場には現在、研究用の組立ラインが設置されており、その後、生産に関するノウハウを積み上げるためにパイロット生産用のラインも設置されます。

カッセル

カッセル工場は、長年にわたり電気駆動のコンピテンス センターとして機能しています。フォルクスワーゲン ブランド向けにグループ コンポーネントが開発したまったく新しい MEB 駆動システムの生産は今年末に開始されます。この工場は高品質でコスト効率の優れた電気モーターの製造を主導する役割を担っています。

“ELECTRIC FOR ALL”メディア ワークショップとモジュラー エレクトリック ドライブ マトリックスに関する詳細は、こちらを参照してください。 www.volkswagen-newsroom.com



September 17, 2018

Uncompromising e-mobility:

World premiere of the modular electric drive matrix– Volkswagen launches ELECTRIC FOR ALL campaign

→ *Brand announces attractive electric vehicles at affordable prices*

→ World premiere of the modular electric drive matrix (MEB) in Dresden: newly developed technology platform will be the key to the “electric car for all”

→ Brand Board Member for E-Mobility Thomas Ulbrich: “The MEB is one of the most important projects in the history of Volkswagen – a technological milestone, similar to the transition from the Beetle to the Golf”

→ 10 million electric vehicles across the Group based on the MEB

→ Brand plans to sell some 150,000 electric cars, including 100,000 ID. models made in Germany, by 2020

Dresden – Volkswagen is driving the transition to e-mobility with a consistency and commitment unlike that of virtually any other automaker. As part of the ELECTRIC FOR ALL campaign launched today, the brand will be putting attractive models at affordable prices on the road, paving the way for the breakthrough of electric vehicles. The electric offensive is based on the modular electric drive matrix (MEB), a technology platform developed specifically for electric vehicles.

Production of the Volkswagen ID., the world’s first series vehicle based on the MEB, will begin in Zwickau at the end of 2019. At the launch of the ELECTRIC FOR ALL campaign, media representatives from all over the world are being given their first deep insight into the technological basis of the ID. at a media workshop in the Gläserne Manufaktur in Dresden, where Volkswagen is demonstrating the centerpiece of the MEB – the rolling chassis without the bodywork and interior – exactly as it will be used in series models. Volkswagen is also seizing



the initiative when it comes to charging infrastructure: a design prototype of the "Volks- Wallbox" is also being premiered in Dresden. This Wallbox is an affordable home system that makes charging the ID. family easy and convenient.

ELECTRIC FOR ALL stands for the Volkswagen brand's vision and central promise: to make innovative technologies accessible to many customers. The MEB is the key to the "electric car for all": it enables a hitherto unachievable price-service ratio and will be instrumental in transforming the electric vehicle from a niche product into a bestseller. Brand Board Member for E-Mobility Thomas Ulbrich commented: "We will make electric vehicles popular and get as many people as possible excited about electric cars. The MEB is one of the most important projects in the history of Volkswagen – a technological milestone, similar to the transition from the Beetle to the Golf."

MEB: the technological platform for the electric age

The systematic platform strategy is one of Volkswagen's unique selling propositions. It testifies to the power the brand and the Group are investing in e-mobility. Thomas Ulbrich said: "We are making optimal use of the possibilities the electric car has to offer and creating massive economies of scale at the same time. Some 10 million vehicles across the Group will be based on this platform in the first wave alone. The MEB is the economic and technological backbone of the electric car for all."

As Christian Senger, Head of the E-mobility Product Line, explained, the MEB platform brings significant benefits for customers: "The ID. will be a milestone in technological development. It will be the first fully connected electric car with full everyday utility that millions of people will be able to afford." The MEB will make it possible to install larger batteries, for example. That alone significantly enhances the range. "The car holds the road really well thanks to the flat battery in the floorpan and the space inside is much more generous – we are making substantial headway with the sense of spaciousness."

Furthermore, the MEB bundles Volkswagen's entire production knowledge: it is not a platform for vehicles with combustion engines that has been retroactively modified, but has from the outset been designed to be 100 percent, uncompromisingly electric. As Ulbrich put it: "Our Modular Transverse Toolkit already proved Volkswagen is one of the most successful platform developers in the auto industry. Now, we're transferring this know-how and this strategy to the electric age."



By the end of 2022, four Group brands will be ramping up 27 MEB models worldwide, ranging from compact cars to the lifestyle Bulli. That is something quite unique."

All members of the ID. family are designed for fast charging. Using fast charging systems, the battery can be charged 80 percent in about 30 minutes thanks to a completely new, significantly more powerful battery system developed by Volkswagen Group Components. Senger explained: "The use of a new generation of high-performance batteries begins with the ID. models. Thanks to their modular design and the multi-cell format, these batteries can be installed in smaller or larger ID. models."

ID. family: e-mobility made in Germany

In every respect, the Volkswagen ID. will be an electric car made in Germany. Most of the Volkswagen locations in Germany are involved in the development and production of the first MEB-based electric cars, including the Volkswagen Group Components sites in Braunschweig, Salzgitter and Kassel. The company is investing €1.3 billion of a total €6 billion budgeted for e-mobility at these three sites.

Wolfsburg

The ID. was conceived and developed by the E-mobility Product Line and Research and Development units at the main plant in Wolfsburg. This is also where the pre-series model is currently being built in the pilot hall and will subsequently be put through its paces at the Ehra-Lessien proving grounds.

Zwickau and Dresden

Volkswagen will be building the series production models of the ID. family in Saxony. €1.2 billion is being invested in Zwickau to become the first pure-play MEB plant and the largest competence center for e-mobility in Europe. The Gläserne Manufaktur began building the Volkswagen e-Golf¹ back in April 2017. The plant is evolving into a "Center of Future Mobility". Customers and visitors can enjoy an interactive encounter with E-mobility and digitalization to discover more about the future of mobility.

Braunschweig

The Braunschweig plant will manufacture the battery system, the heart of the ID. This factory with a long history already builds the batteries for the e-up!², the e-Golf and the Passat GTE³ plug-in hybrid.



Braunschweig is today the battery and packaging specialist and has extensive know-how in power electronics, battery cooling systems and software management. The plant is currently being expanded so as to be able to build up to half a million battery systems per year in future.

Salzgitter

The plant starts pre-series production of rotors and stators for the MEB this year. The Battery Cell Center of Excellence (CoE) is amassing development and manufacturing competence in battery cells and battery module production. This currently includes a lab line to be followed by pilot production with a view to building up production know-how.

Kassel

The Kassel plant has already been the competence center for electric drives for many years. Production of the entirely new MEB drive developed by Group Components for the Volkswagen brand begins at the end of this year. The site is the lead plant for high-quality, cost-efficient electric motors.

More information on ELECTRIC FOR ALL will be available at our newsroom from 11 a.m.: www.volkswagen-newsroom.com

¹⁾ e-Golf - Electrical consumption in kWh/100 km: combined 12.7, CO2 emissions combined in g/km: 0, efficiency class: A+.

²⁾ e-up! - electrical consumption in kWh/100km: 11.7 combined; CO2 emissions in g/km: 0 combined, efficiency class: A+.

³⁾ Passat GTE - fuel consumption in l/100 km: combined 1.8 - 1.7; power consumption in kWh/100 km: combined 13.7 - 13.2; CO2 emissions combined in g/km: 40 - 38; efficiency class: A+.